

TX39ファミリーを用いたNCM 組み込みJAVA®対応

Network Computing Module

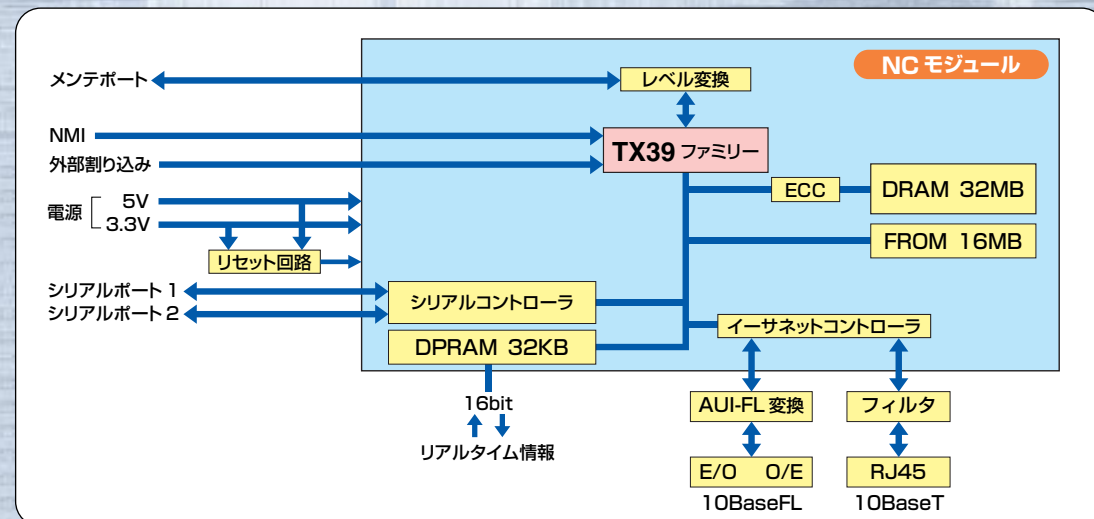


フィールド情報をインターネットへ配信する組み込み制御向けモジュール

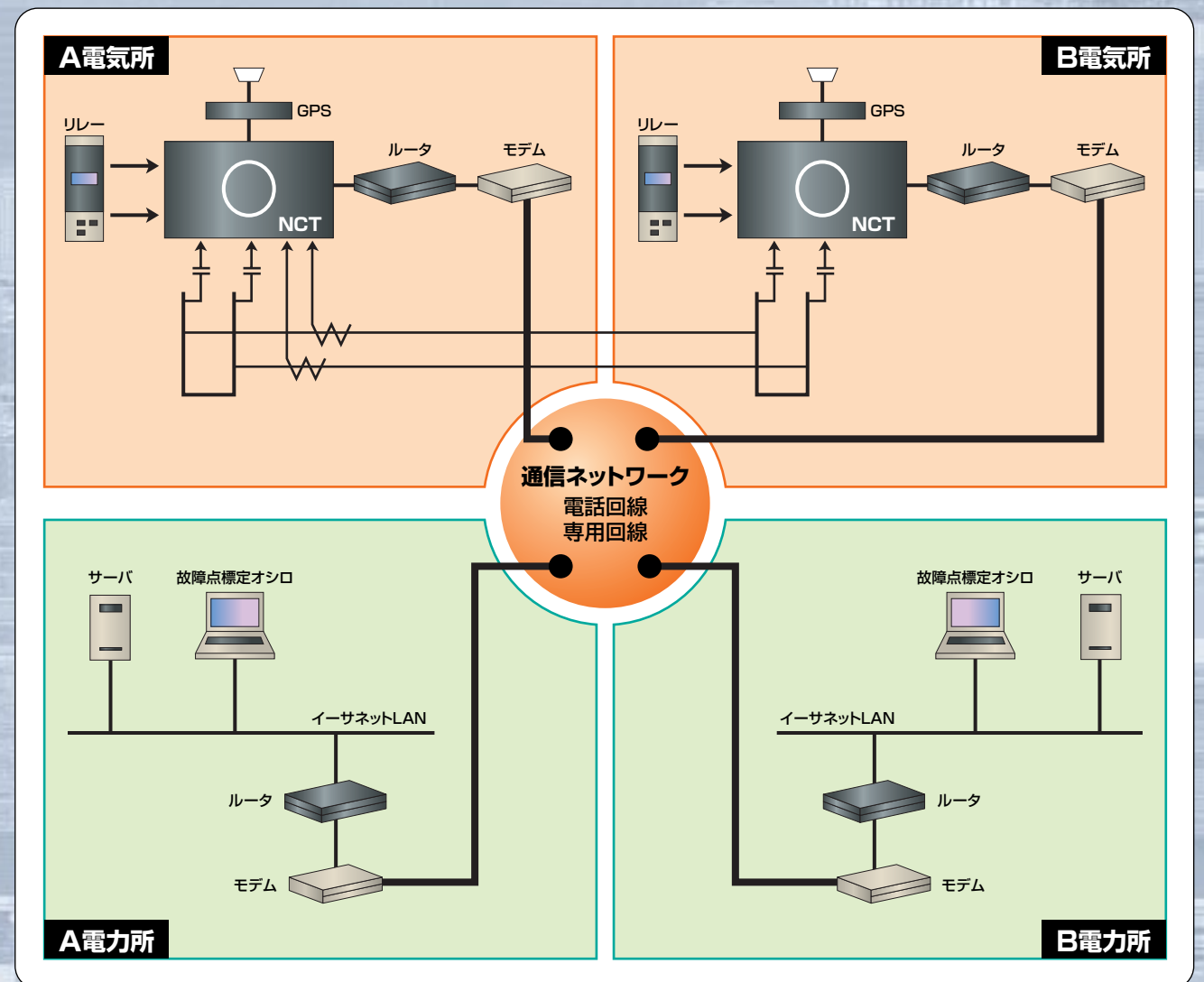
NCM (Network Computing Module) は、TX39ファミリーをメインCPUに用い、インターネット・イントラネットを利用した遠隔情報監視システムを容易に構築するためのネットワークコンピューティングモジュールです。NCMを用いた情報端末NCT (Network Computing Terminal) は、リアルタイム演算機能とネットワーク対応機能を、コンパクトなケースに収納しており、インターネット、イントラネット経由で、電気量やON/OFF情報などのフィールド情報を、遠隔の保守拠点にて取得できます。組み込みJAVA対応*です。

*：東芝電力システム社にて対応

NCM モジュールブロック図



■ 応用システム構成例 (NCM を用いたイントラネット応用事故点標定システム)



※記載されているシステムおよび製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。